報告日：2018.09.03

**学 院 長**

報告者：植田　吉祥

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（受講者）

**教員研修 受講報告書**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **受 講 テ ー マ** | **日　時** | **場　所** |
| IT業界の人材動向@2018 | **期日　2018.09.03**  **時間　17:00～18:00** | CKGビジネスカレッジ  （大橋校）  メディアルーム |
| **受講内容と受講所感等**  　「IT業界の人材動向@2018」についての研修を受講した。  　資料は、IPA発行のIT人材白書2018から。  　今回のキーワードは、「Society5.0」である。入学式で学院長が引用されたテーマであるが、ほぼ研修で初めて聞いた言葉であり、まったく勉強していなかった。内容的には、情報化社会の次に来るものという意味で、「5.0」のキーワードを使っていた。工業社会の中に情報を活用する社会を位置づけていた自分に対して、IPAは明確にそのあたりを新しい社会として定義していたのが印象的である。たぶん、予算獲得のために耳の入りのいいフレーズであるとも思うが。  　Sociery5.0 の活用として、農業応用、防災応用があげられた。自分がかかわる分野ではこの二つは特に印象的に感じる。農業分野では、高齢化とともに農業人口の減少が日々取りあげられているので、この分野に集中的にITを投資するというのは自分の住んでいる近辺を見れば本当に実感できた。二つ目の防災分野は、これだけ自然災害が起きる中で、どうやって災害を防ぐかは事前に知るしかない為、この分野に焦点があてられるというのは、よくわかる気がする。  　人間中心の社会にシフトするというキーワードが出てきたが、これとて、批判的に言えば、情報を作る・処理する側への優秀な人材を提供することは大変だと考える。専門学校として顧客を認識しているからこそ、簡単にはいかない気がした。他方、Sociery5.0の社会で取り残される人も増えてくるような気がする。  　全体の研修の感想として、全体がぼんやりとしていて個々のテーマが技術的にエッジがクリアでない印象を受けたので、難しく感じた。 | | |
| **今後の希望・提案等**  　技術研修から離れている回が続いているので、そろそろ技術研修が受けてみたい。 | | |

※受講後、５日以内を目処に研修実施記録と併せ、本報告書を学院長宛に提出のこと